

# 建通新聞

神奈川

発行所 建通新聞社

## 第2回技術講習会

### 最新技術の動向など学ぶ

神測協

神奈川県測量設計業協会(神測協)関本親義会長は2日、2019年度第2回技術講習会を開き、国土地理院関東地方測量部などから講師を招



いて、3次元点群データの活用に向けた国土地理院の取り組みや、測量技術の最新の動向などについて学んだ。写真。会員・賛助会員企業の技術者ら約70人が参加した。あいさつの中で関本会長は、「3次元データの取得という点で、神奈川県は他の地方都市と比べてそれほど進んでいるとは言えないようだ」とした上で、i-Constructionに関して、「(発注者である)神奈川県の方でもまだ検討段階にあると聞いている。講習会の知識を踏まえ、メーカーとも協力しながら

提案していければいい」と述べた。

今回の技術講習会では、国土地理院関東地方測量部測量課専門職の田山直規氏が、航空レーザ測深の実用状況について説明した後、技術の手引きである「航空レーザ測深機を用いた公共測量マニュアル(案)」や、「3次元点群データを使用した断面図作成マニ

アル(案)」について解説した。

続いて、賛助協力会員各社が3Dソリューションに関する製品・活用事例について紹介。その後、神奈川県測量設計業協会技術委員会の角田真吾委員長が「神奈川県発注業務における公共測量の申請状況と対応事例」について講演・解説した。